



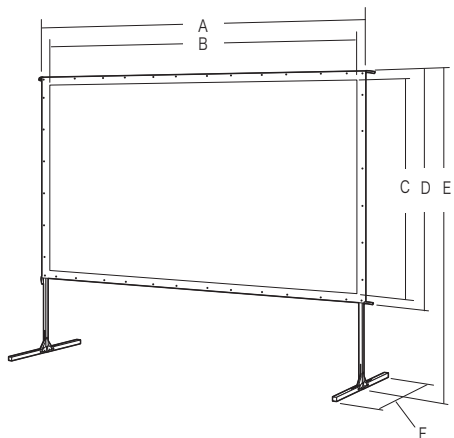
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
このプロジェクタースクリーンは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は設置後も大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの………  
プラスドライバー  
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

**完成図**



	A	B	C	D	E	F
PRS-AF100	2364	2214	1245	1395	2008	943
PRS-AF120	2807	2657	1494	1644	2257	943

※スクリーンは布製でフレームも折り畳み式の為、寸法公差が±5~10ミリあります。

**安全上のご注意 (必ずお読みください)**

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。
- この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。

※組立や移動は、2人以上で慎重に行ってください。

**警告**

下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ストープなど熱器具のそばに設置しないでください。火災の原因になります。
- 強度が不十分な壁面や天井には取付けないでください。落下や破損、思わぬ事故の原因になります。
- お子様に触らないようにしてください。本製品にぶら下がるなどで、落下や破損、ケガなど思わぬ事故の原因になります。
- 屋外では晴天で無風の場合以外は使用しないでください。製品が破損したり、ケガなど思わぬ事故の原因となります。必ず管理者が立ち合いの元で使用ください。
- 壁面は本製品の荷重に十分耐えられる強度がある場所に取付けてください。強度が低いと落下や破損、ケガなど思わぬ事故の原因となります。

**警告**

下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

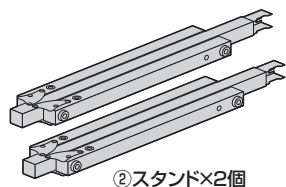
- 設置する際は、地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。強度が低いと落下や破損、ケガなど思わぬ事故の原因となります。
- 必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。強度が低いと落下や破損、ケガなど思わぬ事故の原因となります。
- プロジェクタースクリーンに寄りかからないでください。プロジェクタースクリーンが転倒してケガをする恐れがあります。
- プロジェクタースクリーンを組立てたまま移動させないでください。プロジェクタースクリーンが転倒してケガをする恐れがあります。
- 傾斜している場所や不安定な場所で使用しないでください。プロジェクタースクリーンが転倒してケガをする恐れがあります。
- 風の強い場所に設置しないでください。プロジェクタースクリーンが転倒してケガをする恐れがあります。
- 指定された部品以外を使用しないでください。製品が破損したり、ケガなど思わぬ事故の原因となります。
- はめ込む部分は確実ににはめ込んでください。製品が破損したり、ケガなど思わぬ事故の原因となります。
- ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。製品が破損したり、ケガなど思わぬ事故の原因となります。
- 製品の分解、改造や部品を外したり、外れたままで使用しないでください。製品が破損したり、ケガなど思わぬ事故の原因となります。

**注意**

下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- 直射日光またはストーブの熱、クーラーの風が直接当たる場所や、高温、湿気及び乾燥の著しい場所での設置、ご使用、保管はしないでください。本製品の劣化の原因となります。
- エアコンや扇風機の風が直接あたる場所、窓や扉の近くに設置しないでください。風によって動かされた本製品が壁や周囲のものに接触し、破損の原因となります。
- 壁などに立て掛けて保管しないでください。本製品が倒れ、ケガなど思わぬ事故の原因となります。
- 人が頻繁に通過する場所に設置しないでください。本製品への接触により、ケガなど思わぬ事故の原因となります。
- ぶら下らないでください。落下や破損、思わぬ事故の原因となります。
- 水平な場所に置いてください。ぐらつきや歪みが生じ製品の変形の原因となります。
- スクリーンを押さないでください。製品の変形の原因となります。

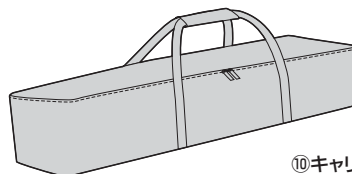
**組立て部品**



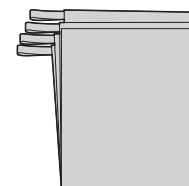
②スタンド×2個



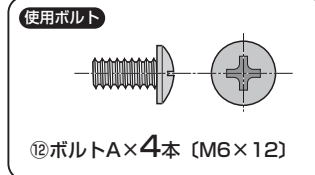
④スクリーンバッグ×1個



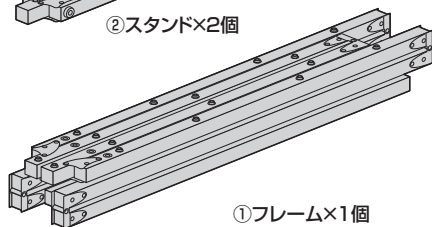
⑩キャリーバッグ×1個



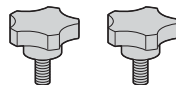
⑤スクリーン×1枚



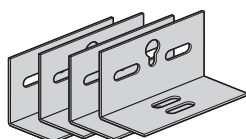
⑫ボルトA×4本 (M6×12)



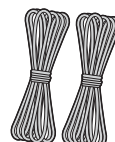
①フレーム×1個



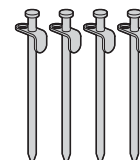
③ノブ×2個



⑨ブラケット×4個



⑧ロープ×2本



⑦アンカー×4本



⑥吊り下げ金具×2個



⑪クロス×1枚

※部品の欠品や破損があった場合は、品番 (PRS-AF100など) と上記の部品番号 (①~⑫) と部品名 (ノブなど) をお知らせください。

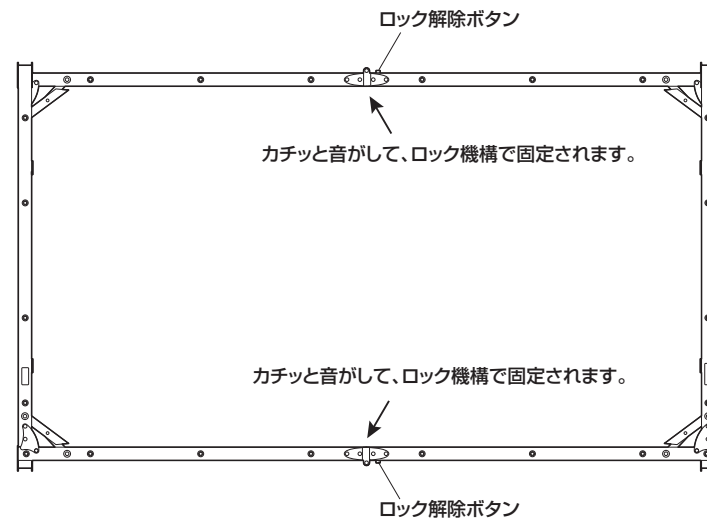
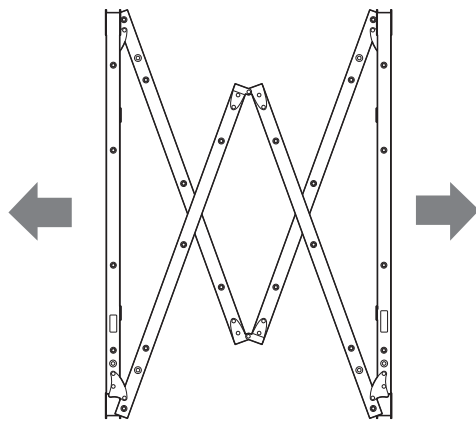
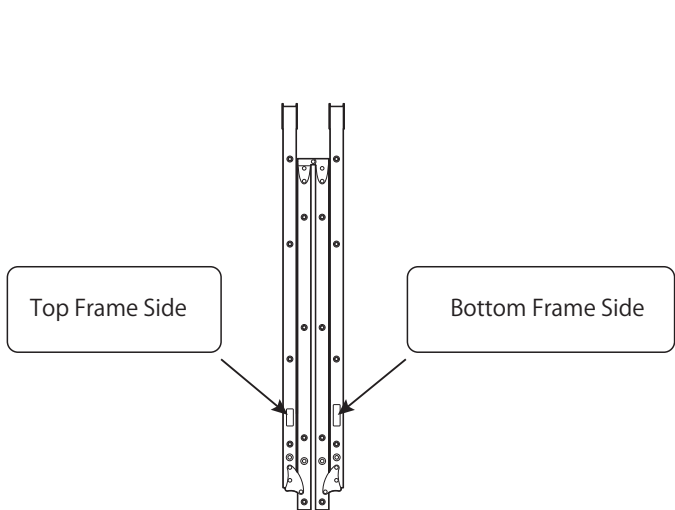
# 1

## フレームを左右に展開します。

①フレームに貼ってあるシールが上向きになるように置きます。

②フレームを左右に広げます。

③フレーム中央部が固定されたのを確認します。



⚠ 注意 ⚠ 指などを挟まないように注意してください。

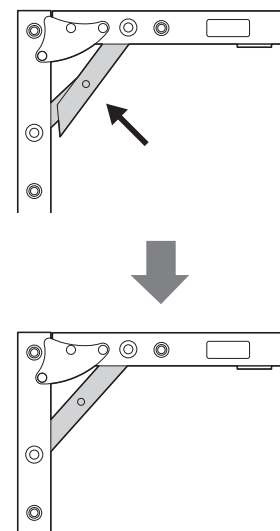
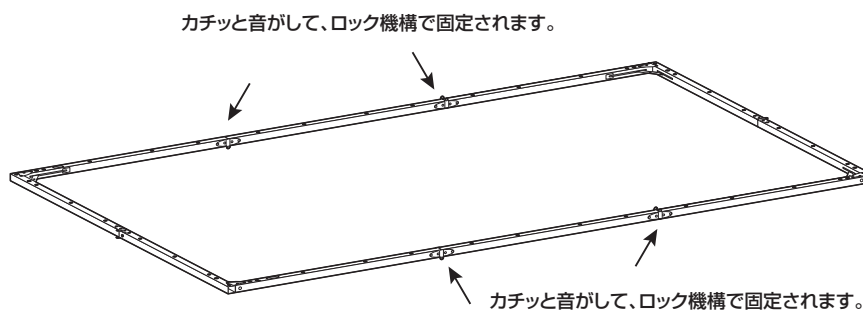
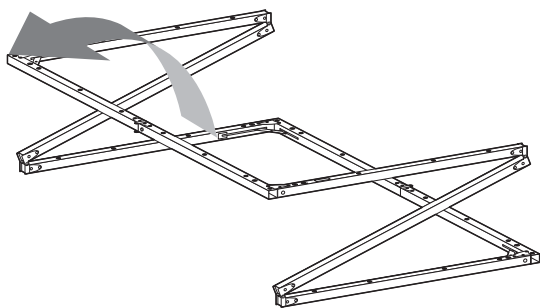
# 2

## フレームを手前に展開します。

①フレームを手前側に引いて展開します。

②フレーム中央部が固定されたのを確認します。

③四隅のストッパーを押し込みます。



⚠ 注意 ⚠ 指などを挟まないように注意してください。

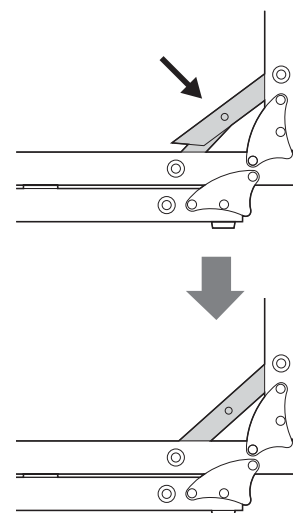
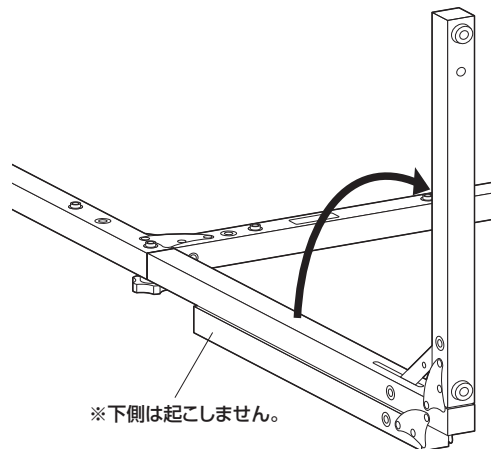
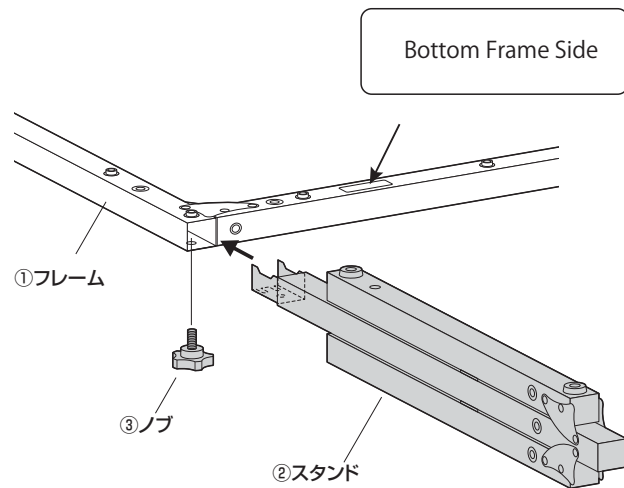
## 自立の場合(壁掛けの場合は⑦へ)

### 3 スタンドをフレームに取付けます。

①スタンドを差し込みノブで固定します。

②スタンドの上側を起こします。

③ストッパーを押し込みます。



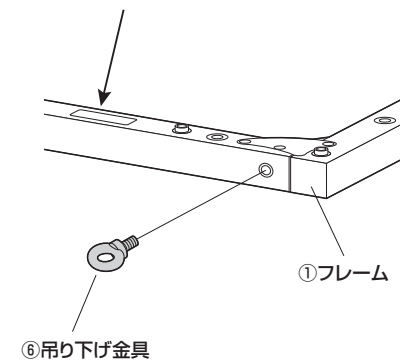
※左右2箇所にスタンドを差し込みノブで固定します。

⚠ 注意 ⚠ 指などを挟まないように注意してください。

※反対側も同様にします。

### 4 吊り下げ金具をフレームに取付けます。

Top Frame Side



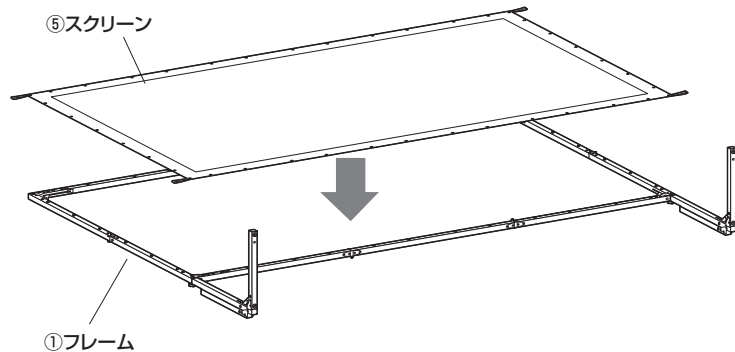
※反対側も同様に取付けます。

### 5 スクリーンをフレームに取付けます。

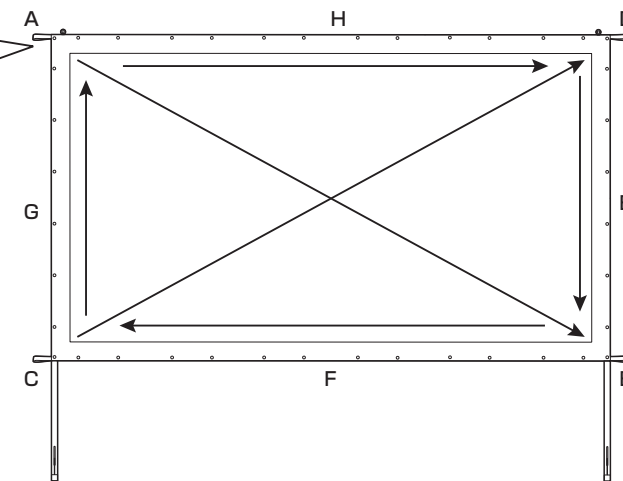
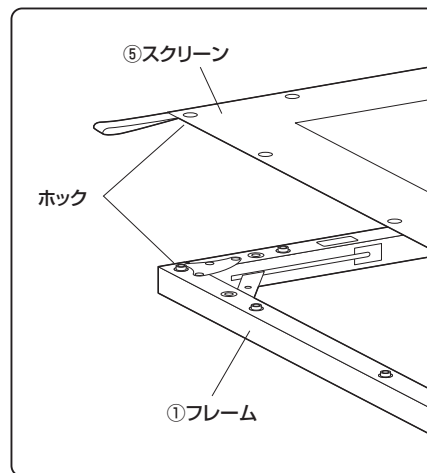
①スクリーンを展開してフレームに乗せます。

②ホックを留めます。

※最初にA、B、C、Dの順に四隅を留めます。次にE、F、G、Hの辺を順に留めます。



※スクリーンに折り皺が残りますが、これは折り畳み収納する為です。ご了承ください。



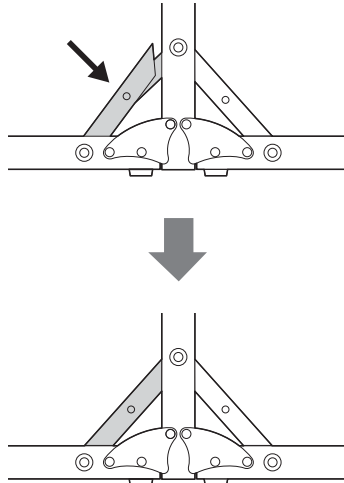
## 自立の場合(続き)

### 6 スクリーンを起こし、スタンドを展開して完成です。

- ①スクリーンを起こした後、スタンドを展開します。  
 ※屋外に設置固定する場合は、起こす前にロープを吊り下げ金具に通しておきます。

⑥吊り下げ金具

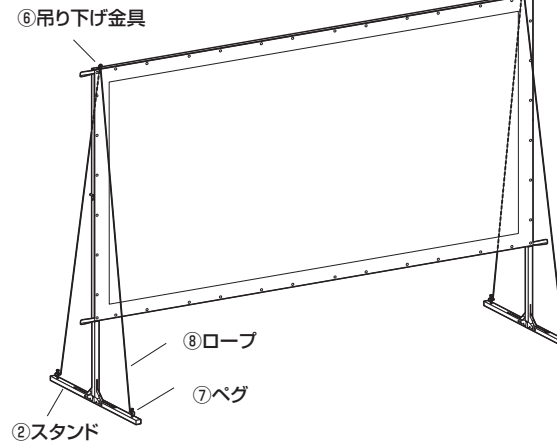
- ②ストッパーを押し込みます。



※反対側も同様にします。

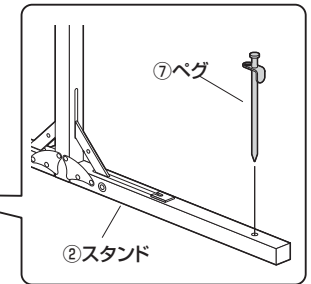
### 【屋外に設置固定する場合】

- ①スタンドの穴にベグを打ち込みます。  
 ②吊り下げ金具に通したロープの両端をベグに結びます。



⚠ 注意 ⚠

屋外での使用は晴天で無風の場合のみ可能です。  
 周囲の安全に十分注意して、安定した場所に確実に固定してください。  
 強風等で破損の恐れのある場合は速やかに撤去してください。  
 必ず管理者が立ち合いの元で使用ください。

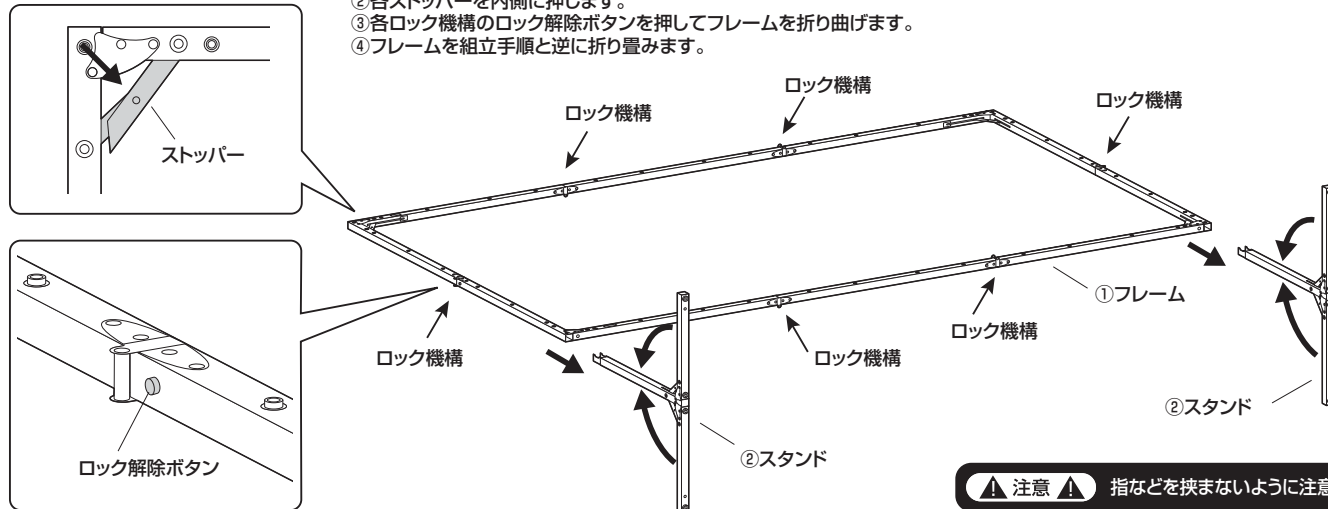


⚠ 注意 ⚠

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

## フレームの折り畳み方

- ①スクリーンとスタンドを外します。  
 ②各ストッパーを内側に押します。  
 ③各ロック機構のロック解除ボタンを押してフレームを折り曲げます。  
 ④フレームを組立手順と逆に折り畳みます。

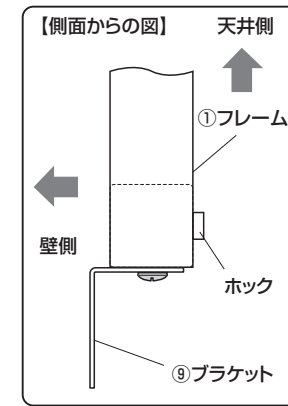
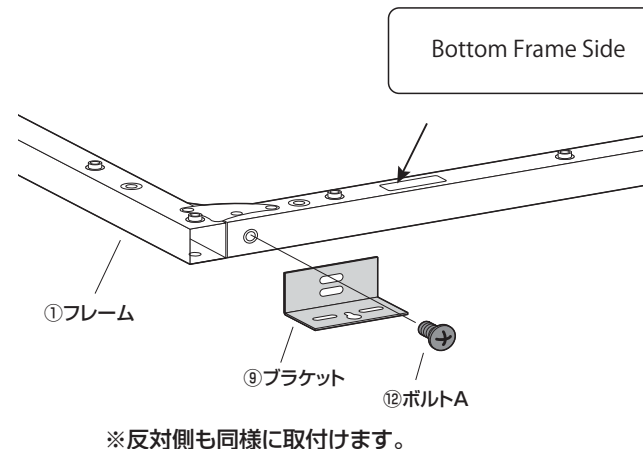
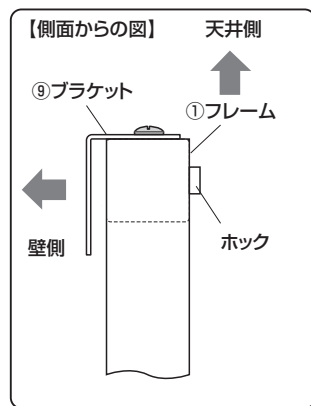
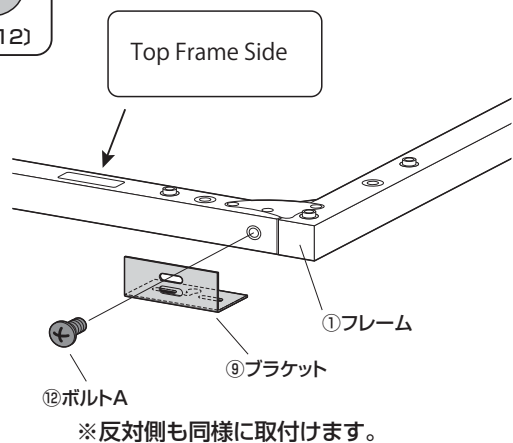
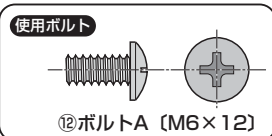


⚠ 注意 ⚠

指などを挟まないように注意してください。

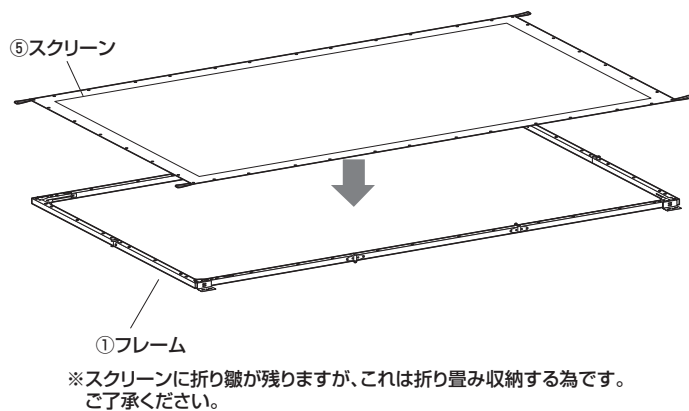
# 壁掛けの場合

## 7 ブラケットをフレームに取り付けます。

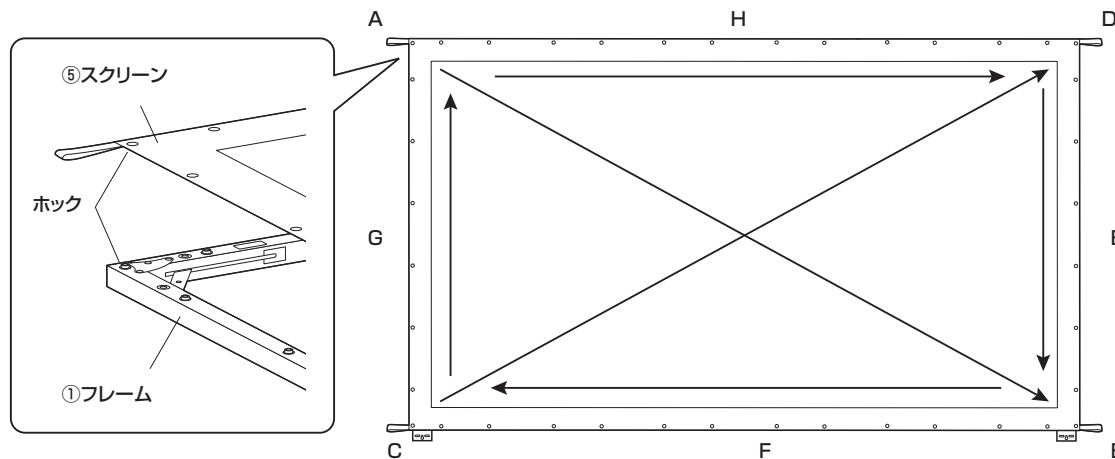


## 8 スクリーンをフレームに取り付けます。

①スクリーンを展開してフレームに乗せます。



②ホックを留めます。  
※最初にA、B、C、Dの順に四隅を留めます。次にE、F、G、Hの辺を順に留めます。



## 壁掛けの場合(続き)

9 壁面にアンカーやボルト等を取付け、スクリーンを取付けて完成です。

### 必ずお守りください

本製品を取付ける場合は特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。  
お客様による工事は一切行わないでください。

#### ▲ 注意 ▲

地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。  
強度が低いと落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因となります。

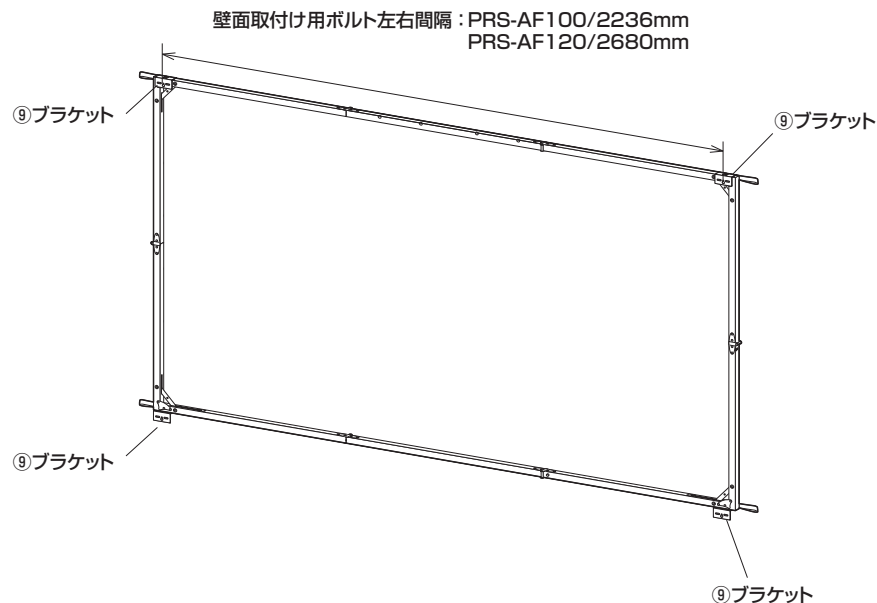
#### ▲ 注意 ▲

壁面は本製品の荷重に耐えられる強度が必要です。壁面取付け用のアンカー(別売※1)、ボルト(別売※1)などを使用して十分な強度を保てるように考慮した上で取付けてください。

#### 注記

※1. 本製品には壁面に取付けるためのボルトなどの金具は付属しておりません。長期間の使用に耐えられる強度のボルトなどの金具をご用意ください。

- ① 壁に上側の壁面取付け用ボルト(別売※1)を2本取付けます。  
※約3mmの隙間を残します。
- ② 上側のブラケットを壁面取付け用ボルト(別売※1)に引っ掛けます。  
※壁面取付け用ボルト(別売※1)とブラケットの穴が合わない場合は、ボルトAをゆるめてブラケットの位置を調整してください。調整後はボルトAをしっかり締めてください。
- ③ 下側のブラケットの穴に合わせて下穴を開けます。
- ④ 下側のブラケットを壁面取付け用ボルト(別売※1)で固定します。



▲ 注意 ▲ 取付け作業は必ず大人2人以上で行ってください。

